
■ 木村芥舟・浩吉関係資料の寄贈 /

木村家に伝わった軍艦奉行木村喜毅(芥舟、1830-1901年)とその嗣子・海軍少将木村浩吉(1861-1940年)の資料が、2017年7月、横浜市に寄贈された。木村喜毅の曾孫木村昌之氏によって横浜開港資料館に寄託され、2011年1月以降、整理・公開されていたもの(横浜開港資料館メールニュース、2011.2.2)。このたび昌之氏の子息、木村喜昭氏により寄贈された。寄贈の経緯や内容については横浜開港資料館の館報『開港のひろば』137号(2017.7.20)に掲載されている(同館ホームページにも掲載)。

資料は総数約380点。咸臨丸渡米時の写真や記録、福沢諭吉書簡、芥舟の著作、浩吉の写真アルバムなどが含まれる。詳しくは横浜開港資料館『木村芥舟とその資料』(1988年刊)、同『咸臨丸太平洋を渡る』(2000年刊)参照。

文書・刊本・印刷物は原資料、軸類は複製写真で公開。扁額・写真類・記念品等の閲覧には特別閲覧の手続きが必要。